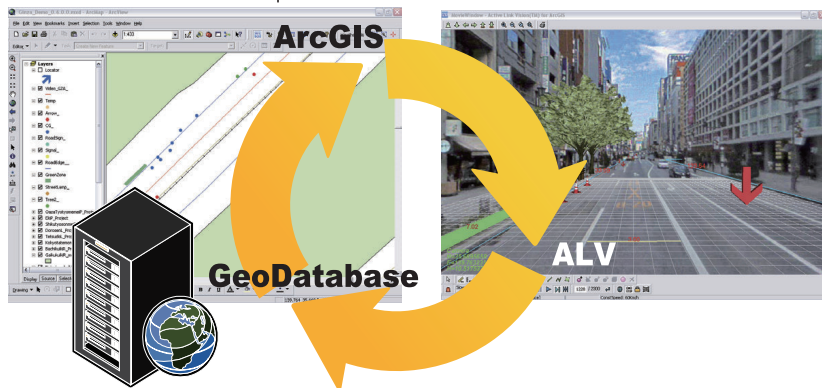


# ALV™ ALVforArcGIS

- 海外で実績豊富なアプリケーション
- バージョンアップを重ね最新の ArcGIS にも対応
- 映像を直接デジタル化してデータベースに登録

SDK により既存 GIS と連携。本格的な施設データベースを構築できます。

※SDK : Software Development Kit



- ArcGIS 等の GIS アプリケーションと全天球映像を連携させ、既存の GIS を見える化
- 全天球映像と 2D 図面、ジオデータベースを一体化して閲覧
- 3D モデルの合成による景観シミュレーション、ジオタグ登録
- 現況そのままの最新映像をデジタル化することにより、現行のデータベースを最新にアップデート
- ArcGIS Server との連携により、複数ユーザーによる現場の共有が可能

Copyright © 2017 Esri. All rights reserved.  
※SDK : Software Development Kit



## 津波水位表示

- 津波による水位の変化を水のコンピュータグラフィックスで表現
- 背景の景色に実写を使用することにより高いリアリティを確保
- ハザードマップを補足するハザードビデオとして使用可能

※遠近感の整合性を確保するためには透明 CG の合成による手動調整が必要です



# MAX ALV

- 3D モデルに代わるリアルな実写 3D プラットホーム
- 情報に欠落が無く、3D モデルのように視点移動が可能

クラウドシティ向け巨大空間管理に最適な 3D 基盤

## Beyond the Trajectory —軌跡を越えて—

- 3D モデルのように視点変更可能な複数軌跡の有機的映像群
- それぞれの映像が座標統合されて、整合性を持って空間内に配置
- 3D モデルと異なり、現実をそのままコピーするため、リアリティが高く嘘がない (有るものは有る、無いものは無い)
- 空撮と地上撮、屋内と屋外を組合せたスマートシティ・クラウドシティ向け巨大空間 3D 基盤に最適
- 映像上に撮影軌跡の表示は必ずしも必要なく、クリックした地点へ軌跡を越えて最短距離で滑らかに移動 (見たい場所へダイレクト移動)

特許申請中

ユーザーは、  
あたかも  
3D モデルのように、  
自由自在に軌跡を越えて  
最適フレームをわたりあるいて  
連続的に移動できます。

